

News Release 取材のお願い

報道関係者各位

公益社団法人 日本看護協会 広報部

2023年11月2日



生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人 日本看護協会

令和5年度厚生労働省看護職員確保対策特別事業 院内助産・助産師外来推進フォーラム ～みんなで語ろう！妊娠・出産のこと～ 11月12日(日) オンライン開催

公益社団法人日本看護協会（会長・高橋弘枝、会員76万人）は、院内助産・助産師外来推進フォーラムを、2023年11月12日（日）にオンライン開催（ライブ配信）いたします。

院内助産は、助産師が医師と連携して妊娠期から産後までのケアを行う仕組みです。近年の医師の働き方改革の流れを受け、第8次医療計画の「周産期医療の体制構築に係る指針」には「院内助産や助産師外来の活用を進めることにより、産科医師から助産師へのタスク・シフトシェアを進める」と明記され、院内助産・助産師外来の推進と、さらなる助産師の専門性の発揮が求められています。また、院内助産は、「出産場所を選ぶ際に妊産婦が考える優先度」として最も高かった項目であることが、厚生労働省の調査で明らかとなっており、妊産婦側からのニーズも高まっています。

こうした状況を受けて、日本看護協会では、昨年度、院内助産・助産師外来を推進する機運づくりに向け、実施者である助産師や産科管理者等を対象にしたフォーラムを開催しました。そして本年度は、院内助産・助産師外来を知っていただくことを目的に、妊産婦とその家族、助産師の仕事に興味を持つ方などを対象としたWEBイベントを開催します。

つきましては、本フォーラムの趣旨をご理解いただき、ぜひご取材いただきますようお願い申し上げます。記者・編集者の皆さまにおかれましては、下記特設サイト内の「医療従事者・行政担当者・報道関係者等の方はこちら」よりお申し込みください。

◆開催概要◆

- 【日 時】 11月12日(日) 14:00～16:00
【対 象】 妊産婦とその家族、将来妊娠・出産を希望する男女、
院内助産・助産師外来に興味がある方、助産師、看護管理者等
【定 員】 3,000人(先着順) (次頁に続く)

<リリースの問合せ先> 公益社団法人日本看護協会 広報部

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2 電話 03-5778-8547 FAX 03-5778-8478

Eメール koho@nurse.or.jp ホームページ <https://www.nurse.or.jp>

News Release 取材のお願い

報道関係者各位

公益社団法人 日本看護協会 広報部

2023年11月2日

(前頁より続き)

- 【参加費】 無料
- 【開催方法】 オンライン (ライブ配信・Zoom ウェビナー)
- 【申込方法】 特設サイトよりお申込み
(11月10日 17:00 締切、先着順)
<https://osanmamore2023.meeting15.jp/>

【院内助産・助産師外来推進フォーラム運営事務局】
TEL: 080-4346-6143
Eメール: osanmamore.2023@maxpart.co.jp
(受付時間:9:30-17:30 ※土日祝を除く)
※特設サイトからのお申込みに関してご不明な点等ございましたら、運営事務局までお問い合わせください。

- 【主催】 公益社団法人日本看護協会
(令和5年度厚生労働省看護職員確保対策特別事業)
- 【後援】 公益社団法人日本産婦人科医会、公益社団法人日本産科婦人科学会、公益社団法人日本助産師会、一般社団法人日本助産学会

■院内助産・助産師外来 PRポスター

本事業の一環として、妊産婦とその家族に向けて、院内助産・助産師外来を実施している旨を周知するために活用いただける、院内掲示用ポスター (PDF) を作成いたしました。特設サイト内よりダウンロードできます。貴媒体読者の皆さまにぜひご案内ください。



■厚生労働省ホームページ「助産師関連施策について」

本事業は、令和5年度厚生労働省看護職員確保対策特別事業として実施いたします。詳細は以下URLよりご覧ください。

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000187231.html>

<リリースの問合せ先> 公益社団法人日本看護協会 広報部

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2 電話 03-5778-8547 FAX 03-5778-8478

Eメール koho@nurse.or.jp ホームページ <https://www.nurse.or.jp>